

キャラクター名
岩巻 渉 (いわまき あゆみ)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
	モルフェウス					
オプション			年齢	16歳	性別	女
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	43 %	
出自	父親(母親)不在	経験	大きな転機	邂逅	保護者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	9
感覚	4	0	0			4	(非装備時)	9
精神	0	1	0			1	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚			意志	3		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
クリスタルシールド	白兵	2r	12	0		この武器を装備している間、他の武器は装備できない。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
EXパスファインダー		12	0	0	このアイテムは装備する。そのほかの防具、敵の行動値に与える。この効果は1シーンに1回だけ使用できる。ただし、この効果を適用した後は、敵の行動値は変動する。

所持品	
フォールンサラマンダー (秘密兵器)	
フォールンズプライト (秘密兵器)	
ウェポンケース	

合計装甲: 12 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
秘密兵器	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 44 残り財産P: 28

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヴィークルモーフィング	5	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 使用時に、ヴィークルモーフィング専用アイテムからひとつを選択する。あなたは選択したヴィークルを取得し、使用できる。この時、即座に[搭乗]状態ともよい。このエフェクトで取得したヴィークルはシーンの終了時に失われる。								
ソードマスター	5	3	セットアップ	至近	単体	自動		
効果: 効果の対象は装備している武器ひとつを選択すること。そのラウンドの間、対象が行う選択した武器による攻撃の達成値を+[Lv*3]する。								
砂の結界	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果: ダメージロールの直前に使用する。あなたはカパーリングを行う。このカパーリングによって、あなたは行動済みにならず、あなたが行動済みでも使用できる。このエフェクトは1メインプロセスに1回まで使用できる。								
黄金練成	4		常時					
効果: キャラクター作成時、およびアフタープレイにおける常備化ポイントの計算の際、常備化ポイントを+[Lv*10]する。このエフェクトは侵蝕率でレベルアップしない。このエフェクトを取得した場合、侵蝕率基本値が+3される。								
秘密兵器: EXパスファインダー	2							
効果: 1シーンに1回、行動値を+7、侵食値を+3できる防具								
秘密兵器: フォールンズプライト	2							
効果: 1シーンに1回、対象の判定Dを+3個								
贋作師	★							
効果: 見た事のある物の贋作を作る事が出来る。ただし一周間ほどで土くれと化す								
成分分析	★							
効果: 物質の性質やら元素やらを知る事が出来る。								
万能器具	★							
効果: 色んな物を使って色んな日用品を削り出せる。								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

UGNに所属するオーヴァード。モルフェウスのピュアブリードで、巨大ロボットを創造しての戦闘を得意とする。それ自体はピュアモルフェウスであればそこまで物珍しいものではないが、彼女が特殊なのは、予め作成するロボットの設計図を引いている所にある。外見のデザインはもちろん、細かいパーツ、関節部の稼働範囲、装甲の材質や総重量、武器装備に至るまで彼女が一人で設計しており、その図面に従ってロボットを作成する。

「ちゃんと造らないとちゃんと動かない」とは彼女の言だが、実際のところモルフェウスの能力者なら大まかなイメージさえあれば創造は可能であり、細部に至るまで設計する彼女の拘りは早い話が趣味でしかない。

その証拠に実際にロボットを創造し操縦する彼女は実に楽しそうであり、任務の後はその時作ったロボットのプラモデルを3Dプリンタで自作する程。流石に実物大では無いが、パーツを一つ一つ作成して組み立てている。

彼女にとってこのプラモデルは思い出の象徴であり、その為か戦闘毎に造るロボットの形は変わる。彼女の部屋には数多くのプラモデルが並び、それは同時に彼女の戦闘経験の豊富さを意味している。

そこまでロボットに愛着持つ理由については本人もはっきりした事は言えないが、幼い頃にチルドレン仲間と見たロボットアニメの影響と、玩具のブロックで遊ぶ事が好きだった事が候補として挙げられる。

彼女にとって設計図作成は趣味の延長であり、それを実際に動かす事の出来るモルフェウスの能力はまさに天性の才能であったと言える。

ただし、設計図を引くと言う事は彼女の創造するロボットは全て「現実で造る事が可能」なレベルに収まっていると言う事であり、彼女のロボットには堅牢さはあれど対オーヴァードとしての火力に欠けると言う欠点が例外無く存在する。

その為に、彼女の戦闘時の役割は仲間のサポートとなる。敵の攻撃から仲間を守る、支援射撃で補助する等、派手な見た目には裏腹に彼女の戦いは地味であり堅実。

他者との連携を前提としている都合上、優れた仲間の存在が不可欠であるが、その点においては彼女は恵まれている方だろう。長い付き合いのパートナーとの連携はまさに阿吽の呼吸である。

彼女の戦い方一つ欠点を上げるとすれば、肝心の操作技能が未熟である事だろうか。パートナーの後を追おうとして、勢いあまって跳ねてしまうのはもはや様式美である。“ホーミングダッシュ”の名前もここから来ている。